

## Joellerie de France

### フランス ジュエリー展示会

2006年、フランス国家の支援により「Joellerie de France」という刻印制度が創設。この刻印が許された製品は、フランスの法律的・社会的規律に準じた品質を持ち、倫理的・環境的規範のもと、フランス宝飾業界の芸術性を尊重しながら、フランスで製造、加工、セッティング、研磨されたものであることが保証されている。

今年は日仏交流150周年という記念すべき年にあたることから、6月17日、表参道ヒルズで、この刻印を製品に刻むことを許された20社が集い、100点を超えるコレクションを展示した。

今回はフランス・ジュエリーの製造行程を、フランスで最も伝統あるパリ・ルーブル通りの宝飾学校の学生が会場でデモンストレーションするなど、パリのアトリエを再現した臨場感あふれる会場で、フランス・ジュエリーの神髄を披露した。

●事務局/Tel. 03-5469-9060



#### ●アトリエ・フレディアーニ

宝石学者としての専門知識を活かし、世界中の宝石生産国へ向かい、個性的な石に合わせて、クラシック、モダン、エスニックといった様々のスタイルのジュエリーを創作。最近では隕石や、ギリシャやガリア、古代ローマ時代のコインも素材として注目している。上記のリングは隕石や燧石(すいせき)、カーネリアンで創ったメンズジュエリー。



#### ●アヴェヴァ

20年の歴史、11人の職人からなるパリの工房アヴェヴァのクリエイションは、調和とエレガンスを基本としながらも大胆で、宝石の持つ豪華さを最大限に生かす。熟練の金細工職人が高品質のパーツを添えているのも特徴。「アヴェヴァ」のジュエリーは、パリ・ヴァンドーム広場のホテル・リッツ内ブティックでも販売している。



#### ●ロリス

ロリスには「ジュエリーへの愛」という共通の情熱に導かれた多くの才能が集い、デザイン画のスケッチから仕上げに至るまで、すべての工程においてフランスの伝統に培われた職人の手作業の技が生かされている。上記はキャトル・セゾン(四季)から春と秋を表現したペンダント。この他、夏・冬もある。



#### ●ヴァンゲルデール

ヴァンゲルデールが常に意識しているのは、「女性達が何を求めているか」ということ。クリエイターとしての革新的な視線を持ちながらも、常に女性の日常を意識し、彼女たちの期待に応えるジュエリーを創ること、そして自由な遊び心と永遠の美しさの両立をテーマにクリエイションを続けている。上記はMARQUISE TOUR COMPLET(公爵夫人)と題した全周ダイヤモンドを使用したマリッジリング。



#### ●フィリップ・トゥルネール

夢の館「神殿」と題した建築物をかたどった指輪の起源は、6世紀のメロヴィング朝時代に遡る。大部分はガリアの上流階級の女性の墓で発見され、誓いの指輪と呼ばれていたようだ。フィリップ・トゥルネールは伝統を継承し、写真やデザインをもとにオーダーメイドで顧客の「夢の館」を提案している。36年以上前にブランドを設立。以来、その個性的なスタイルによって、揺るぐことのないアイデンティティーを築き上げてきた。